

ん、あぢきなきかねことなりや、たれにたのめたるにかあらんとおもふに、まらまほしうおかし、

〔枕草子春曙抄〕^三あすはひの木 明日^{アスハ}檜^{ヒノキ}にや、世俗にあすならふといふ木なり、檜の木に似て

材木につかふ物也、

〔本草一家言〕^二當^{アテ}檜^ヒ 又呼阿天爲屋柱、呼九太從丹波來、當^{アテ}檜^ヒ者即明日^{アス}奈郎^{ナラウ}宇木、即左波羅、質柔阿

尖飛者質剛、或云左波羅生南方、受日光、故質柔也、阿天飛者生山陰而不受日光、故其質剛、自是一種、

又云阿天、阿天飛分明是二種也、阿天者生信州木曾山中、扁柏之生東南而受風日甚強、故其質剛、故

不爲材用也、阿天者一片剛、一片柔、尤難爲鋸、開謂是阿天、即扁柏下品也、阿天飛者即左波羅、而天台

山外史所載仙人柏、一名雁翅柏也、此又一說也、宜辨別、

〔伊豆海島風土記^下產物〕アスナラウ イヌマキ、羅漢松ナリ、此木八丈ニ少ク、神津島ニ多シ、國地ニ

テアスナラウト云、木ハ兒ノ手柏ニ似テ、檜ニ近シ、此仙柏^{イヌマキ}ノ皮直本皮ノ木性ナリ、土人モ皮ヲト

リ、打ヤハラゲテ船ノ矧目ヲ塞グ、

〔和漢三才圖會^{八十二}〕檜^音 略 ○

一種阿須^{アスヒ}檜 似檜而木心似^{マキ}椴、爲器、脂出不佳、此與檜只如有一夜之差乎、匠人用僞檜、又名阿須奈呂、即柏

木也、

〔廣益國產考^二〕檜 ○ 中

又檜の一種に阿須^{アスヒ}檜といふあり、檜によく似て、木の芯^{しん}披^{まき}に似たり、是を世間にてはあすならふ

といへり、即ち柏木^{ヒノキ}なりといへり、

〔書言字考節用集^六生植〕圓柏^{ヒヤクシ} 柏^同 檜

〔倭訓栞^{中編}二十一〕びやくし 柏子の音にや、朱舜水混柏也といへり、こは木柏子をいふ、はひび

やくまんは臥檜也、いぶきびやくまんは檜栢なり、唐柏子あり、葉よくつまじたり、古事談には白

柏身